

1.新型コロナウイルス感染症対策に関連する各種施策に係る予算の執行状況等（特定）

検査の
背景

- ✓ 令和元年度及び2年度に実施決定された新型コロナウイルス感染症関連の以下の5対策等に係る予算は多額
 - － 元年度（政府対策本部の決定において示した額。予備費を含む）
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策（緊急対応策第1弾） 2年 2月13日政府決定 153億円
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策－第2弾－（緊急対応策第2弾） 2年 3月10日政府決定 4308億円
 - ・ 生活不安に対応するための緊急措置（緊急措置） 2年 3月18日政府決定 104億円
 - － 2年度（一般会計における各補正予算額。予備費、緊急経済対策閣議決定後に別途経費として計上した新規対策事業を含む）
 - ・ 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策（緊急経済対策） 2年 4月 7日（4月20日に一部変更）閣議決定
 - 1次補正 25兆5654億円 2次補正 31兆8170億円（新規対策事業を含む）
 - ・ 国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策（2年総合経済対策） 2年12月 8日閣議決定 3次補正 19兆1761億円
- ✓ 2年度に用途限定のコロナ対策予備費を創設（3次補正後9兆6500億円）するなど予備費予算も多額

検査の
状況

- ✓ 5対策等のコロナ関連事業（2年総合経済対策は、コロナ対策との関連性を考慮して抽出したもの）計854事業を分析対象
- ✓ コロナ対策に関連する予算執行を区分して管理している事業計770事業について、5対策等別、経費項目別、府省等別、事業別等に予算の執行状況を分析したところ、多額の繰越額や不用額が計上されている状況
- ✓ 経費項目別の分析においては、本院が事業の目的別に経費項目を設定し、元年度から2年度末までの間を通算した予算の執行状況を分析

「感染症防止策」	301事業	予算総額 9兆6500億円	繰越額 3兆0084億円、	不用額3587億円
「経済・雇用対策」	296事業	予算総額46兆1529億円	繰越額13兆0361億円、	不用額5399億円
「国際協力」	141事業	予算総額 2813億円	繰越額 62億円、	不用額 0.02億円
「コロナ対応臨時交付金」	3事業	予算総額 7兆8792億円	繰越額 5兆2640億円、	不用額 7億円
- ✓ 予備費が配賦された予算科目の予算現額全体に対する執行状況を分析
 - ・ 予備費使用額以上の繰越額を計上していた予算科目数 元年度 9目、2年度19目
 - ・ 予備費使用額以上の不用額を計上していた予算科目数 元年度17目、2年度 3目
- ✓ 予算現額の過半を予備費使用額が占めている予算科目（元年度16目、2年度10目）を対象に、予算が予備費使用額から優先して執行されたと仮定して、予備費使用額に係る不用額相当額を保守的に試算したところ、予備費使用額に係る不用額相当額が生じている予算科目数は元年度7目（計611億円）、2年度0目

所見

- ✓ 各府省等において、国民の理解と協力を得ながらコロナ対策を進めていくために、多額の繰越額や不用額を計上している状況等について、国民に対して十分な情報提供を行うこと
- ✓ 各府省等において、多額の繰越額や不用額を計上したコロナ関連事業について、その原因を分析するなどして、適時適切な実施に努めるとともに、各事業に係る予算の執行状況等を国民に対して広く情報提供すること

1.新型コロナウイルス感染症対策に関連する各種施策に係る予算の執行状況等（特定）

各府省等

令和元年度及び2年度に政府が決定した新型コロナウイルス感染症に関連する対策等と予算措置との対応関係

年度	対策等名	対策等の主な内容	対策等に係る予算
令和元年度	緊急対応策第1弾	国内感染対策の強化 65億円 水際対策の強化 34億円 帰国者等への支援 30億円 国際連携の強化等 18億円	153億円（うち予備費使用決定額103億円）
	緊急対応策第2弾	学校の臨時休業に伴って生じる課題への対応 2463億円 事業活動の縮小や雇用への対応 1192億円	4308億円（うち予備費使用決定額2714億円）
	緊急措置	個人向け緊急小口資金等の特例の拡大 104億円 国税・社会保険料の納付の猶予等	予備費使用決定額103億円
令和2年度	緊急経済対策	雇用の維持と事業の継続 19兆4904億円 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発 1兆8096億円 官民を挙げた経済活動の回復 1兆8481億円 コロナ対策予備費 1兆5000億円	2年度第1次補正のうち緊急経済対策関係経費25兆5654億円
		資金繰り対応の強化 11兆6390億円 コロナ対策予備費 10兆円 医療提供体制等の強化 2兆9892億円 感染症対応地方創生臨時交付金の拡充 2兆円 持続化給付金の対応強化1兆9399億円	2年度第2次補正のうち新型コロナウイルス感染症対策関係経費31兆8170億円
	新規対策事業	家賃支援給付金の創設 2兆0241億円 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金（仮称）の創設 1710億円	
	2年総合経済対策	ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現 11兆6765億円 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策 4兆3581億円 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保 3兆1414億円	2年度第3次補正のうち2年総合経済対策関係経費19兆1761億円
	新規対策事業	一時支援金 2490億円 子育て世帯生活支援特別給付金 2174億円 学生支援緊急給付金給付 531億円	予備費の使用決定

元年度分は、**既定予算**に加えて、**予備費**を使用決定することで、各対策実施予算を手当

2年度分は、**当初予算の一部**で手当するとともに、**3次にわたる補正予算**を編成したり、**予備費**を使用決定したりすることで各対策等実施予算を手当

5対策等に多額の予算を計上

注（1）2年度分については、一般会計の予算額のみ記載

注（2）「新規対策事業」は、各府省等が緊急経済対策の閣議決定以降に新たに新型コロナウイルス感染症対策関係経費を計上して実施するなどした事業

通常の予備費とは別枠で、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止策に要する経費その他の同感染症に係る緊急を要する経費以外には使用しないものとする、**コロナ対策予備費を創設**（図赤枠部。なお、3次補正で1兆8500億円減額）

1.新型コロナウイルス感染症対策に関連する各種施策に係る予算の執行状況等（特定）

5対策等は、主に補正予算又は予備費の使用決定により新規に財源措置がなされているものの、予算執行については、補正予算成立後又は予備費使用決定後は、予算科目ごとに当初予算等の既定の予算と一体として執行されるため、基本的に財源別に予算の執行状況を把握できない

《本院の分析》

① 各府省等において、法令上の予算科目別の管理とは別に、一定の条件に基づき細分化するなどした事業の多くで事業別の管理が行われていたことから、これを基に特定したコロナ関連事業854事業のうち、**予算執行を区分して管理している770事業について、5対策等別、経費項目別（下表参照）、府省等別、事業別等に予算の執行状況を分析**

元年度から2年度末までの間を通算した経費項目別の予算の執行状況

(単位：事業、百万円、%)

経費項目	事業数	予算総額 (A)	支出済額 (B)	繰越額	不用額	執行率 (B/A)
大分類						
新型コロナウイルス感染症防止策	301	9,650,003	6,282,639	3,008,436	358,770	65.1
経済・雇用対策	296	46,152,950	32,576,855	13,036,100	539,994	70.5
国際協力	141	281,389	275,111	6,276	2	97.7
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	3	7,879,208	2,614,470	5,264,026	711	33.1
その他	31	1,464,913	822,475	465,176	177,261	56.1
純計（経費項目ごとの重複を控除）	770	65,416,529	42,560,298	21,779,684	1,076,390	65.0

(参考) 経費項目・小分類ごとの予算執行状況（予算総額が1兆円以上の小分類項目のみ抜粋。左図の一部内訳）

(単位：事業、百万円、%)

大分類	小分類	事業数	予算総額 (a)	支出済額 (b)	繰越額	不用額	執行率 (b/a)
新型コロナ ウイルス 感染症 防止策	医療提供体制整備 等関係経費	121	6,828,941	4,617,856	2,071,125	139,802	67.6
	治療薬・ワクチン 開発等関係経費	30	1,920,174	1,128,254	787,726	4,192	58.7
経済・雇 用対策	資金繰り対策等関 係経費	35	16,985,618	8,107,131	8,865,526	12,961	47.7
	中小事業者支援等 関係経費	32	13,244,860	10,078,683	3,058,566	107,610	76.0
	生活困窮者支援等 関係経費	30	24,236,621	17,626,289	6,257,778	352,553	72.7
	観光業、文化芸術 事業支援等関係経	34	2,936,426	1,028,100	1,905,884	2,441	35.0

5対策等について、本院が経費項目別に整理して分析

多額の繰越額や不用額を計上

② **予備費**に関しては、予備費の使用決定により**予算が配賦された予算科目の予算現額全体に対する執行状況について分析**

→**予備費使用額以上の繰越額**を計上していた予算科目数 **元年度9目 2年度19目** / **予備費使用額以上の不用額**を計上していた予算科目数 **元年度17目 2年度3目**

さらに、予備費使用額が予算現額の過半を占めるもの（元年度16目、2年度10目）を対象として、予算が予備費使用額から優先して執行されたと仮定して、**予備費使用額に係る不用額相当額が生じているか本院において保守的に試算**

→予備費使用額に係る不用額相当額が生じている予算科目数 **元年度7目611億円**、2年度該当なし

所見

各府省等において、国民の理解と協力を得ながらコロナ対策を進めるために、**多額の繰越額や不用額を計上している状況等について、国民に対して十分な情報提供を行うこと**、また、多額の繰越額や不用額を計上したコロナ関連事業について、**その原因を分析するなどして、適時適切な実施に努めるとともに、各事業に係る予算の執行状況等を国民に対して広く情報提供すること**